

# 被災した全医療機関へ 国は支援を

日本共産党



## 参院予算委 市田書記局長の質問

●日本共産党の市田忠義書記局長が9月29日の参院予算委員会で  
行った質問の内容を紹介します。

### 東北沿岸部の医療は震災で壊滅的な打撃

市田忠義書記局長

東日本大震災から半年余りがたちました。真

の復旧・復興というのは、あの大地震から生き永らえたすべての人々が、これからも安心してその地に住み続けるようにすることです。そのためには、住まい、仕事、収入の道を確保すると同時に、役場や学校があり、お医者さんが身近にいる、これが必須の条件となると思いますが、総理の基本認識をうかがいたいと思います。

野田佳彦首相 ご指摘のとおり、医療は国民生活に欠かすことのできないセーフティーネットです。とりわけ被災地における医療機能の復興は被災地全体の復旧・復興の観点から大変重要である

と認識をしています。

市田 東北地方は、国の医療政策の下で医療の過疎化が大変激しいところでした。中でも東日本大震災の被災地である沿岸部、人口10万人当たりの医師数で見ますと、全国平均が131・5人に対して80人未満というところも

あるほどです。ただでさえ深刻なこの地域の医療が、震災によって壊滅的な打撃を受けました。したがって地域医療の復旧・復興を

考えるときに、これまでこの地域で頑張ってきたすべての医療機関を国が責任を持つて応援する、私はこういう立場が国として当然だと思います。

首相 復旧・復興において医療は大変重要であるという認識の下で、国としてできることを万全を期していかねばいけないと思いますし、被災地の要望も踏まえながらの対応をしていきたいと思っています。

市田 尋ねていることに答えてほしいんです。被災したすべての医療機関を国が責任を持つて応援するという立場が必要じゃないか、この点について、どういう認識かを聞いています。首相 後押しの仕方はいろいろあると思いますが、医療全般がきちっと復旧・復興できるように国として責任を果たしていきたいと思っています。

### 市田 被災者の医療費窓口負担無料化を 来年2月以降も延長せよ

厚労相 被災者が困らないように対応

市田

被災した東北3県の医療

機関数を種類別に述べてくださ

い。

小宮山洋子厚生労働相

9月

15日時点で、病院については全380のうち全壊が10、一部損壊が290、医科診療所は全体4036のうち全壊が83、一部損壊が1176、歯科診療所は全体2597、全壊が87、一部損壊が827という報告を受けています。

市田 実に病院で約8割、医科の診療所で31%、歯科診療所で35%、膨大な医療機関が被害を受けました。沿岸部だけだともつと比率は高いです。

こういう事態を目の当たりにして、多くの医療関係者が現地に駆け付けて何とか緊急事態は乗り越えました。(しかし)被災者の多くがいま仮設住宅に移って、全国からの医療支援もほぼ終了に向かつて、これからは次第に日

常の医療体制に戻っていくことになります。

そこで、二つの問題があります。一つは被災者の医療費の負担問題、もう一つは医療機関の復旧問題です。

被災者の医療費の窓口負担はいまは原則無料ですが、期限は来年の2月末となっています。仕事や収入の確保の道が見えないまま期限が切れば、大量の医療中断が発生して命と健康が脅かされかねません。延長の措置が必要と思いますが、総理の基本認識をお聞かせください。

厚労相 被災地の状況などを踏まえて、お困りになることがないようにしっかりと判断をしていきたいと思っています。

市田 被災者が困らないように対処すると確認しておきたいと思っています。

### 市田「災害復旧費補助金」制度――

### 全壊の医療機関も対象にすべきだ

首相 柔軟・適切な対応を心がける

市田 次に、医療機関の現状がどうなっているか、まず、病院について聞きます。

全壊した10の病院、一部損壊ないし半壊した290の病院のうち、被災前の機能を取り戻した病院はどれぐらいありますか。

厚労相 病院については、入院の受け入れ不可が84から20、外来

受け入れ不可が45から8へそれぞれ減少をしております。

診療所については、医科診療所の受け入れ不可が515から79へ、歯科診療所の受け入れ不可が563から85へそれぞれ減少し、診療機能は徐々に回復はしつつあると思っています。

3次補正でも災害復旧費の補



助金、また地域医療再生基金を積み増して、必要な支援を行っていきたいと考えています。

**市田** 全壊した病院を中心に、依然として医療機能が損なわれたままだということだと思います。

医療機関の災害復旧には「医療施設等災害復旧費補助金」という制度があります。この申請件数、額、全壊とそれ以外に分けてお答えください。

**厚労相** 被災3県の医療施設等災害復旧費補助金の申請件数および申請金額は、医療機関全体で290件、およそ162億円です。そのうち、病院が125件、約140億円、医科診療所が165件、約22億円となっています。

ただ、現時点では、全壊した医療機関からの申請はござ

いません。どうしてかとい

ますと、全壊の場合、準備にいろいろ時間がかかることがあると思いますし、また再生基金などで対応しているケースもあると聞いております。

**市田** 全壊が1件もないのは準備が遅れているからだけですか。

**厚労相** 全壊の場合は、申請準備に対応するのに時間がかかることと、再生基金の方で対応しているケースがあると聞いております。

**市田** どうして災害復旧の補助金を使わないんですか。

**厚労相** 災害復旧補助金については、地域医療の提供で中核的な役割を担う公的病院や政策医療を行う民間医療機関を補助対象としています。ただ第1次補正予算で、これまでは対象となっていなかった災害拠点病院や小児救急医療

拠点病院などを追加をしています。

**市田** よく質問を聞いて答えてくださいよ。災害復旧のための補助金という制度があるのに、全壊については1件も申請がない。いわゆる「再生基金」を使うからだとおっしゃいました。なぜ災害復旧の補助金を使わないのかと聞いてるんです。

**厚労相** 災害復旧の補助金は、全体の町づくりの中で使っていくもので、まだその段階に至っていないということかと思っています。

**市田** そういうでたらめを言ったら駄目ですよ。例外的に災害復旧のために使っているのを3県に15億円ずつ出したでしょう。宮城、これをもう配っていますよね。全壊、1カ所ありませんか。地域の医療再生計画が立つてからでない申請できないと、そんなことないでしょう。宮城で、全壊が含まれていませんか。答えてください。

**厚労相** 地域医療再生基金について3県に配っております。

橋が全壊すれば補助の対象なのに  
病院は線引きするの

**市田** その場で復旧するところが原則だとおっしゃいました。国土交通省にうかがいま

す。その再生基金の方で全壊

の場合は対応するということが考えられますが、ただ、町づくり全体の計画ができる中で使うことになっているので、まだその準備をしている段階なので実際に使っているところはないということです。

**市田** そういうごまかしをしたら駄目ですよ。大臣、後ろ（役人）を向かないで、こっち見てくださいよ。

では、手続きがきちんと行われれば、災害復旧助成金の対象に全壊の場合もなりますね。今手続きが遅れているだけで、ちゃんと手続きされれば出しますね。

**厚労相** 必要な要件を満たしていれば出せます。

**市田** 必要な要件とは何ですか。

**厚労相** 仕組みをしっかりと検討する必要があると思います。が、その場で再建することが条件になっているために、町づくり全体の中で医療機関をどこにするか決定しない段階で使えていないということですね。

ね。

**前田武志国交相** 異常な天然現象で橋が損壊した場合、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法の対象になります。

**市田** 同じ場所に付け替えていつも洪水で流される場合、若干場所が変わってもお金は出ますね。

**国交相** 災害復旧事業では原形復旧が基本ですが、原形という意味は機能を回復するということだと思います。

**市田** なかなか名答弁だと思っています（笑い）。もう一つ確認しておきます。木の橋が壊れたと、原形復旧が原則だけれど、もう一度造り直すときに木の橋を造るばかりはいませんか。

病院に入院機能がなくなり重症化、  
亡くなった方もいる

**市田** 病院が全壊した沿岸部ではいまどんな事態が起こっているか。入院機能がなくなっただけに、重症化した患者は車で1時間半もかかる内陸部の病院に搬送しなければならぬ。二つ、三つの病院を転々として亡くなったというお年寄りもおられます。これから寒くなって肺炎の患者さんが増えるのに、入院施設もなくて十分な診療も治療もできない。一体どうやって住民を救ったらいのか。

ね。そういう場合、コンクリートの橋に変える。これも災害復旧の対象として助成金は出ますね。

**国交相** 改良復旧という制度がございますから対象になります。

**市田** 橋が流れた場合は原形復旧といっても、こうやって緩やかなんですよ。ところが医療機関の場合はいろいろ線引きするんです。

総理は、後押しの仕方はいろいろあるけれど、原則として全部、壊れた医療機関については復旧に国が責任を持つといながら、全壊した病院は事実上、災害復旧の対象にしない、いっぱい線引きをしている。

医療施設等  
災害復旧事業の適用状況

医療機関	適用の可否	施設数
公立・公的病院	○	57
救急、周産期などの政策医療を行う民間病院	○	68
上記以外の病院	×	175
公立・公的診療所	○	9
在宅当番医制度などの政策医療を行う民間診療所	○	156
上記以外の医科診療所	×	1094
歯科診療所	×	910

8月15日現在／厚生労働省資料から

全壊した岩手県の陸前高田市の県立高田病院、仮設診療所として診療を再開した。第1次補正予算で仮設診療所（への助成）は認められたが、仮設病院は認められなかったからです。しかし、毎日200人の外来患者が殺到して、現場から、入院や手術の機能なしではやっていけない、入院させれば重篤化することなく1週間もあれば元気を回復することが分かっている、家に帰さなければならぬ、こ



ういう悲鳴が上がっています。

総理、こんな事態はほっておけないと思うんですがどうですか。

**厚労相** 原状復帰でなければ使えないということは、こういう災害の際ですから柔軟に対応して使えるようにしてい

### 「仮設病院」を早く認めよ—— 政府の対応はあまりにスピード感がない

**市田** 仮設病院を認めて国が助成すべきじゃないですか。

**厚労相** 第3次補正予算に向けて、地域医療再生基金の積み増しを要求しています。仮設病院の設置に要する費用に

ついては、この地域での医療を復興する過程で必要性があると認められるということだと思いますので、被災県が作成する医療の復興計画に盛り込まれる場合、これを使えるようにしたいと思っています。

**市田** 復興計画ってこれから立てるんでしょう。720億円を再生基金に積み増す予定というのは、補正予算が成立してからでしょう。それから復興計画立てたら待っていないんですよ。

高田病院なんかは病床が欲しい、入院機能も手術の機能もないから、仮設診療所としては認められているけれど

きたいと思います。

**首相** 先ほどの橋の事例じゃないんですが、医療についても単なる原状復旧ではなく、厚労大臣が答弁したように、柔軟な対応、適切な対応をするように心がけるべきだと思います。

も、病床を増やしてほしいという思いがあるけれど、仮設病院というのは制度がなくて認められていない。助成もないでしょう。どうですか。

**厚労相** 地域医療再生基金はすでにつくっており、3次補正でさらに積み増すので、すでに使える基金はございます。

**市田** じゃ、いくらあるんですか。

**厚労相** 各県に120億円ずつございます。

**市田** 120億円、全部自由に使えるんですか。復興計画を立てなくても、いま必要だということに使えますか。あの（厚労相の後ろにいる）白いシャツの人（役人）、使えない顔しているじゃないですか。

**厚労相** 復興計画の中に盛り込んで使うということなので、各県で早く盛り込めるように厚生労働省としてもサ

ポートをしていきたいと思っています。

**市田** 全然スピード感がないです。一度、東北3県の医療機関を見に行きなさいよ。そんなこと言っておられる場合じゃないです。次から次へと、

せっかく生き永らえた人々は、医療機関がそういう状態のために命をなくしていくという事態が続いているんですよ。そういう認識ではまったく駄目だということを言っておきたい。

### 市田 公的病院は補助するが、 民間は除外するのか

厚労相 補助金使えるよう新しい仕組みも

### かかりつけの病院を補助の対象外 ——血も涙もない

**市田** 「医療施設等災害費補助金」についてはもう一つ重大な問題があります。公的医療機関には補助金が出るのに、圧倒的多数を占める民間医療機関にはほとんど補助が出ません。

被災地域は国の医療政策に基づく公立病院の統廃合が相次ぎ、医師不足もひどい。もと全国の中でも特に医療過疎が深刻な地域でした。ですから、公立か民間か、病院か個人の診療所か、医科か産科か歯科かを問わず、みんな公的、社会的な役割を果たしてきたんです。ですから、復旧・復興に当たって、公的な病院と民間とでなぜ差を付けるのか、厚労大臣、明確に

答えてください。

**厚労相** 地域医療の提供の中で中核的な役割を担う公的病院、政策医療を担う民間医療機関を補助対象としているのが災害復旧費補助金で、これを使うようになっていきますが、第1次補正予算で、災害拠点病院や小児救急医療拠点病院などを追加しています。

**市田** 聞いていることに答えてください。なぜ政策医療以外の一般の病院や診療所、産科、歯医者さんなどを外すんですか。

**厚労相** これまで、その地域で中核的な役割を担ってきたところに出すようにしてきましたが、地域の実情に応じてできるように、どのように使



質問する市田書記局長（右）＝9月29日、参院予算委員会



えるかを考えていきたいというふうに思います。

**市田** どのように使えるか検討していきたいというのはなかなかいい答弁だと思いま

す。災害復旧補助金で、これまでは政府の政策にのっとった政策医療以外は民間は補助がなかった。しかし、必要性があるならば補助を検討してもいいという答弁ですね。そうおっしゃいました。非常にいい答弁です。もう一回確認しておきます。

**厚労相** 地域医療の再生基金とか災害のものとかがいままでの用途がございますが、何とかとにかく現地の医療を再生しなければいけないと思いま

すので、その組み合わせなり、うまくいかなければ新しい仕

組みを考えるなり、地域の医療をしっかりと応援していけるようにしていきたいと思

**市田** 住民の身近にあった診療所、かかりつけのお医者さんというの

は一番必要なんです。それが政策医療に入っていないから公的助成の対象にしない、こういうのを血も涙もないというんですよ。もう一回答弁してください。

**厚労相** お住まいの方が困りにならないようにあらゆる知恵を使っ

て考えていきたいと思

**市田** 地元の人が困らないように災害復旧助成金で必要なものはきちんと対処するということを確認しておきたいと思

います。(拍手)

2億円の借金して病院再建  
国は知らぬ顔でいいのか

**市田** 先日、気仙沼市のある外科診療所の話が新聞で報じられていました。「政府は東北の医療を見捨てるつもりか」「このお医者さん大変怒っておられました。津波で全壊、お父さんの代から38年、外科診療所をやってこられて、1000人の患者さんを抱えている。

公立病院は復旧費用の3分の2(が国から出る)、ところが診療所は対象外なんです。

なりました。こういう苦労を押し付けて国は知らぬ顔して

いいんですか。

厚労相 「さかのぼって補助金出せるようにする」

**厚労相** 災害復旧費の中で、いま上限は決められてい

ませんので、その中で必要なものが対応できるようにしてい

たいと思

**市田** いまのは事実ですね。

**厚労相** 今回、東日本大震災に際してそういう形にしてお

りますので、その中で対応してい

きたいと思

**市田** 再生基金を積み増すと

言われたけど、先ほど紹介した外科医の場合、2億円の借

金をしたというんです。県から独自(補助の)1000万

円は出たと。これをいくら

積み増しされても、いったん

1000万円出たら、これに

追加しては出ませんよ。

確認しますけど、これから

再建するところへの手当て

は、それ(積み増された分)で

されるかもしれないけれど、

いま例に挙げた診療所のよう

に住民の願いにこたえて自己

資金で借金して診療所を建

てたところを支援するんです

か、どうですか。

**厚労相** それはさかのぼって出せるようにいたしますの

で、出せます。

**石井一予算委員長** 小宮山厚

労大臣。

**厚労相** 先ほど申し上げたのは政策医療にかかわる病院についてそういう形でさかのぼってするということ

で、あとは災害の方の費用でやらせていただくということ

です。(議場騒然)

**市田** 結局、政策医療、要するに国が必要と考える医療機

関しか助成しない。さっきは

そう言わなかったじゃないで

すか。いまになって、後ろの

白いカッターシャツ(役人)の

人から言われてそんな答弁を

変

更するようでは駄目です。

**予算委員長** 確かにすき間が

あるようですから、後刻、市

田さんと厚生労働省とし

つかりと詰めて、問題があれば

持つてきてください。(議場

騒然)

**市田** 予算委員会の公式の答

弁で、厚生労働大臣が、事前

に通告しておいた質問に対し

て、政策医療以外も助成する、

上限なしということ

で言われ

たわけですから、それをこの

質問の確認として、これ以上

の答弁は要りません。(拍手)

**予算委員長** 市田議員の質

問が終わりましたので、それ

以上政府の答弁は求めません

が、この問題は理事会で協議

し、結論を得て、救済の方へ

向かって頑張ろうと、こうい

うことにしましょう。

しんぶん赤旗

をお読み下さい。

購読申込書

- 日刊 月3400円
- 日曜版 月800円

お名前

住 所



お申し込みは、お近くの党事務所または党員か、下記まで。

日本共産党中央委員会  
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7  
☎03-3403-6111 FAX03-5474-8358